

平成30年度重点「道の駅」の選定について

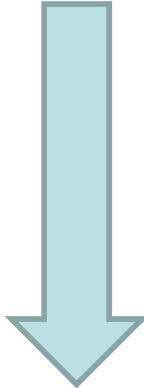
平成31年2月26日

平成30年度 重点「道の駅」の選定について

公募概要

公募期間:平成30年10月5日(金)～10月25日(木)

- 地方創生や地域活性化の拠点の形成等を目指した「道の駅」の新たな設置、又はリニューアル等の企画提案を公募
- 優れた企画があり、今後の重点支援で効果的な取組が期待できるものを選定



選定にあたり優先的に評価する事項

- 重点「道の駅」候補からの企画提案
- 以下に関する企画提案
 - ・ 新たな観光拠点の形成
 - ・ 風景街道・道守との連携
 - ・ 高速道路との連携
 - ・ 子育て応援

選定結果

有識者の意見も踏まえ平成31年1月30日(水)に選定

①重点「道の駅」(国土交通大臣選定):15箇所

今後の施設整備に向け、駐車場や休憩施設等は社会資本整備総合交付金等で重点支援するとともに、自治体・関係機関による協議会を設け、複数の関係機関の制度の活用等についてワンストップで相談できる体制を構築するなど、ハード・ソフト両面から支援

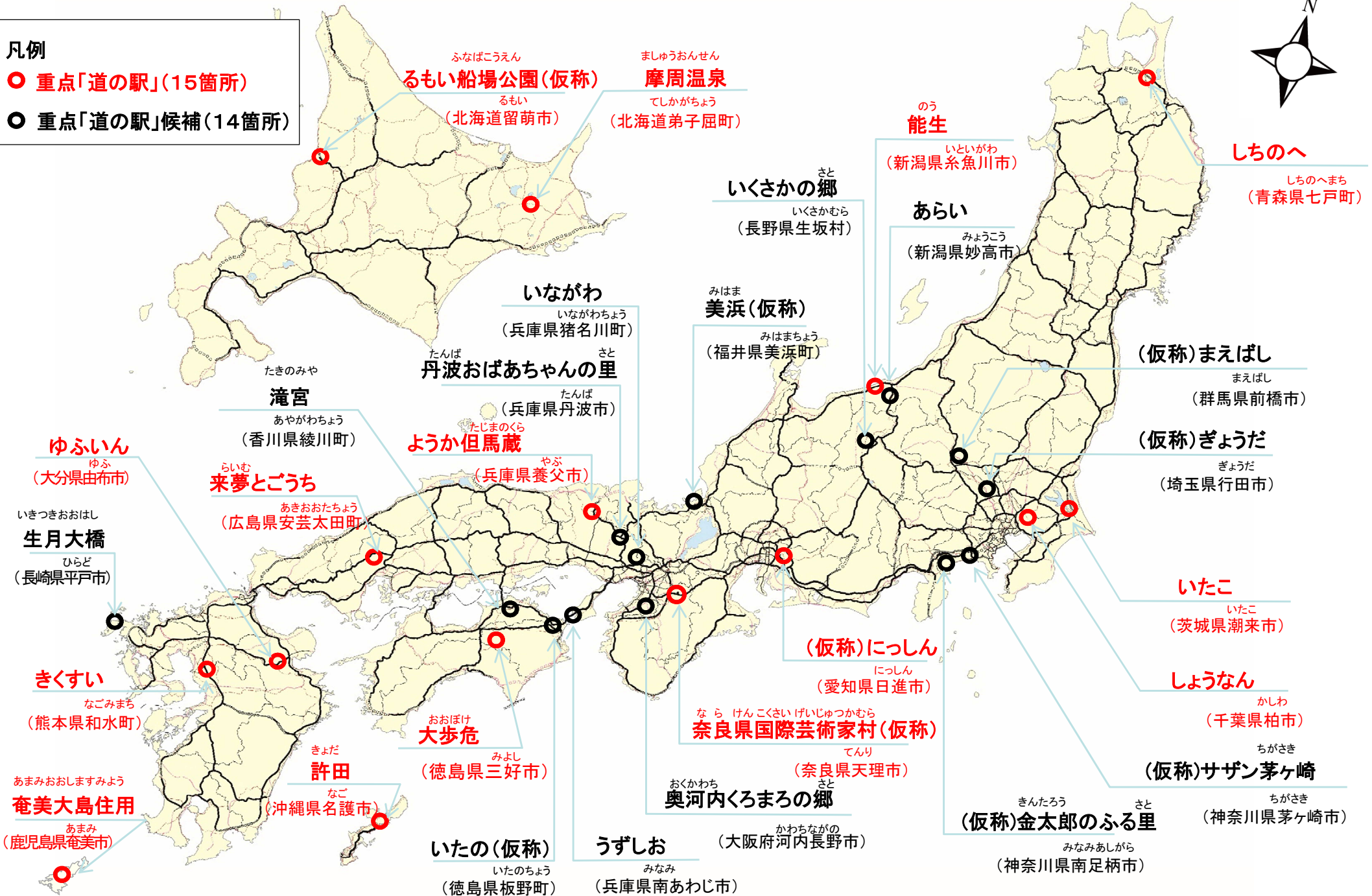
②重点「道の駅」候補(地方整備局長選定):14箇所

自治体・関係機関による協議会を設け、複数の関係機関の制度の活用等についてワンストップで相談できる体制を構築するなど、主にソフト面から支援。

平成30年度 重点「道の駅」選定結果

凡例

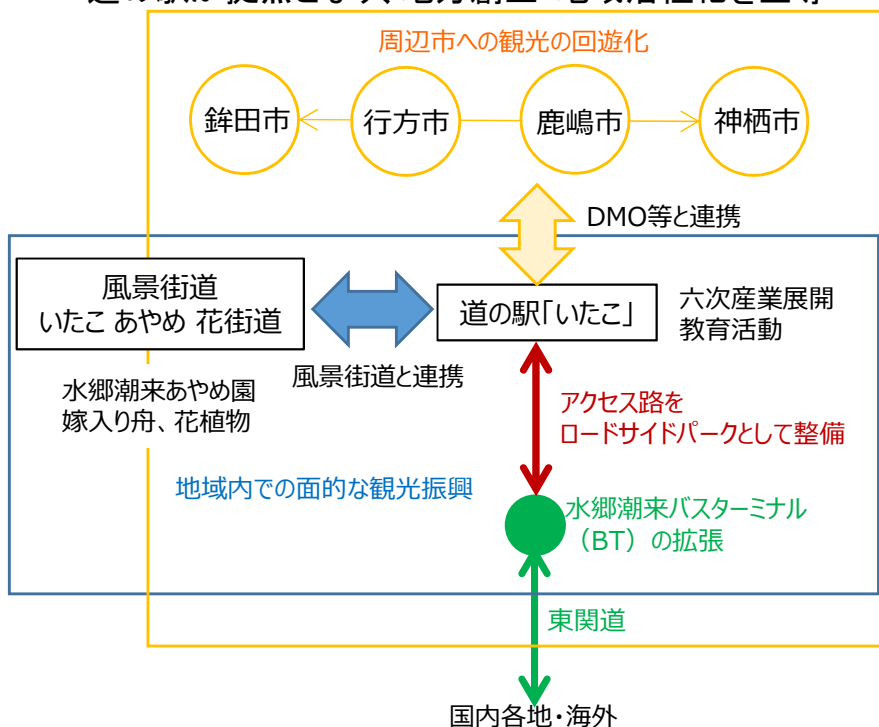
- 重点「道の駅」(15箇所)
- 重点「道の駅」候補(14箇所)



道の駅「いたこ」(茨城県潮来市) 企画概要 <既設>

- DMOと連携しスポーツツーリズムの取組を通じ、道の駅を拠点とした周辺市への観光の周遊化を図り、インバウンド観光の効果を広域的に活性化させる
- 風景街道の利用拠点と道の駅を双方向で誘導させ、地域内でも面的に観光振興を行う
- 平常時はもとより、災害時においても、子育て世代の安心と安全を応援する

道の駅が拠点となり、地方創生・地域活性化を主導



駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
いたこ	茨城県	潮来市	県道101号	既設	平成14年	一体型

平常時も災害時も子育て世代を支援

(平常時) 道の駅利用者

優先駐車スペース

授乳室

おむつ交換台

(災害時) 道の駅利用者 + 地域住民

小児科医、婦人科医、
カウンセラーの派遣
または遠隔医療

抗菌シャワールーム

自立型電源供給(風力)

<提案の先駆性・ポイント>

- DMOと連携した次世代観光拠点の形成
- 風景街道と連携し、地域内で面的な観光振興を実施
- 観光の拠点となる道の駅において、六次産業化による加工品を展開し、観光・産業振興による雇用を創出
- 今後を担う地元の若者へ地域のアイデンティティを醸成させる
- 優先駐車スペースや授乳室・おむつ交換台で子育て世代を支援
災害時は遠隔医療も受けられる防災拠点として抗菌施設を整備

<実施内容>

- 近隣市と一体となった観光プランニングの実績を有するDMOと連携し、BTを活かし道の駅を拠点とした観光の周遊化を実施
- 道の駅運営会社が風景街道の水辺拠点を管理運営し、道の駅と地域観光資源を結びつけ、市内観光事業をリードさせる
- 初等教育や中等教育にて、風景街道・道の駅と歴史文化を郷土資産として認識させる教育を継続して実施する
- マザーズキャビンを整備し、子育て世代の安全安心を応援する

- 県内に点在する修復機能を集約化し、建造物や遺跡から彫刻・絵画等の美術工芸品まで修復できる中核拠点を整備
- 修復機能の集約施設に、修復作業を公開・解説する機能や歴史文化資源に触れあう機能、文化財の保存修復に係る伝統的な技術の伝承など人材育成を行う機能を導入し、観光・交流施設に機能を拡充
- 地元農産品を活用した農家レストランやマルシェの設置、伝統工芸品の販売施設なども併設して複合化
- 歴史文化資源に関する国際フォーラム・シンポジウムを積極的に誘致し、地域の強みを生かして県外だけでなく広く国外からのインバウンド需要を呼び込むなど地域の文化資源を活用、国内外への情報発信力を強化
- 風景街道である「山の辺の道」と接続した周遊観光を実現

【考古分野の公開解説イメージ】



【美術工芸分野の公開解説イメージ】



駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
奈良県国際芸術家村(仮称)	奈良県	奈良県	国道25号	新設	平成33年	一体型



<提案の先駆性・ポイント>

- 世界遺産や国宝、重要文化財などを多く有する奈良県の強みを活かし、文化財・文献資料・歴史上の登場人物など、これまで戦略的な投資が十分になされてこなかった歴史文化資源の活用に係る施策の展開
- 文化・芸術振興の取り組みに加え、観光・産業振興、まちの賑わいづくりなどの政策間連携による地域活性化

<実施内容>

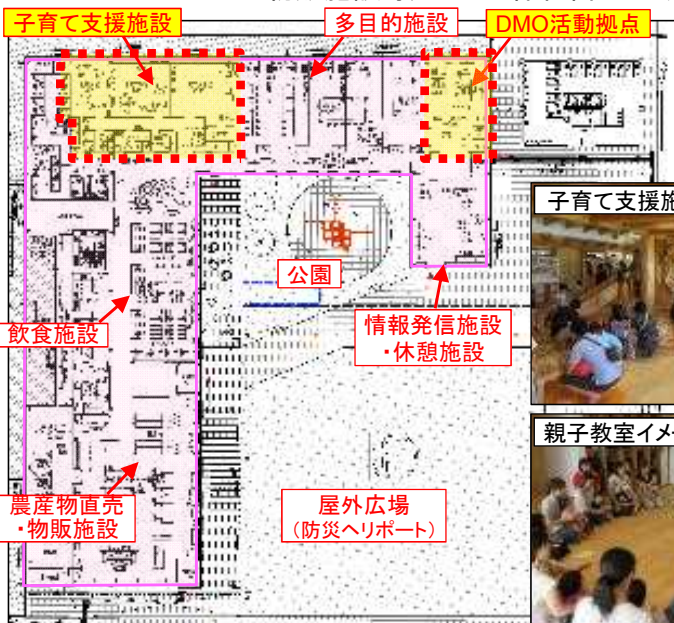
- 奈良県文化財保存事務所(建造物)、天理市文化財課・奈良県橿原考古学研究所(考古)、民間修復事業者(美術工芸)等、修復機能を集約
- 修復体験や仏像等のレプリカのハンズオン展示などの体験学習を実施
- 県内の社寺や他の文化施設、観光名所を周遊する着地型旅行の拠点化
- 観光交流拠点として、農家レストランやマルシェ、伝統工芸品の販売施設設置
- 天理市と連携し国内外の芸術家を招聘する文化・芸術振興の取り組み、観光・産業振興、まちの賑わいづくりなどにより地域を活性化

道の駅「(仮称)につしん」(愛知県日進市) 企画概要 <新設>

- 日進市は、子育て世代を中心に人口が増加しており、広い駐車場を備え、気軽に車で立ち寄りやすい道の駅に子育て支援機能を持たせ、子育て支援ニーズ拡大への対応を図る。
- DMOが、「道の駅」を拠点に地域の観光情報を集約、情報発信・案内し、地域資源を生かした価値創造へとつなげる。
- 日進市は、人命救助活動部隊の活動拠点を第2次緊急輸送道路沿いに設置し防災体制の充実を図る。
- 農業振興計画「田園フロンティアパーク構想(基本計画)」の拠点施設に隣接して整備することで、相乗効果を図る。

子育て応援 《子育て応援に取り組む施設イメージ》
 ※指定管理者制度の活用により、収益部門(飲食・物販施設等)との一体経営により管理運営を行う

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
(仮称)につしん	愛知県	日進市	主要地方道 瀬戸大府東海線	新設	平成35年度 (予定)	一体型 (予定)



**安心して子育てできる
環境整備の拡充**

- 昭和55年から平成27年までの間に、人口が約2.1倍の**87,622**人にまで増加。
- 子ども数や転入率は、国や愛知県平均を大きく上回る水準。
- 将来人口推移をみると、2060年(平成72年)には**110,764**人になると予測。



次世代観光拠点の形成(DMO)

■「につしん版DMO」(設立準備中)を「道の駅」に設置し、観光まちづくりの拠点として展開。



道の駅を拠点に観光情報を集約、情報発信



[観光資源:愛知牧場]



[観光資源:岩崎城]

<提案の先駆性・ポイント>

- 広い駐車場を備えた道の駅に子育て支援施設(屋内)を設置し、相談等を実施することで、増加する子育て世代のニーズ対応、孤立化の防止や情報発信能力の向上を図る。
- 緊急輸送道路沿いに人命救助機能(防災拠点)を位置付け、南海トラフ地震を始めとする大規模災害に備えた防災体制を充実。
- DMOや多目的施設を中心に、子育て世帯、学生、NPO等の市民が集い、情報交換や交流・連携の促進されることで、地域の観光やイベント等、地域をPRする情報発信拠点として地域づくりを推進。

<実施内容>

- 子育て支援施設、広場・公園、授乳室、子ども用トイレ、オムツ替え台、思いやり駐車場(妊婦優先駐車スペース)等の整備
- 保護者の子育て相談「出張広場」の開催、遊び場の提供、親子の学びの提供として講座・市内大学と連携した子育てイベントの開催
- 防災拠点として防災ヘリポートを兼用した広場、非常電源、災害用トイレ等の整備
- DMO活動拠点(事務所)、市民自治活動の場として多目的施設の整備、屋外広場内に電源・水道の整備

① 地域における計画的な企画提案の検討について

- 今後は毎年度公募する予定
- 検討期間を確保するため、次回は2019年夏頃から2～3ヶ月間の公募期間

② 重点支援を行う対象について

- これまでは、優れた企画提案に対して重点支援を実施
- 施設の老朽化や交通量が減少している箇所など、深刻な課題を抱える道の駅に対する支援のあり方
- 法人化する全国道の駅連絡会との連携 等

③ 選定方法について

- 有識者による現地確認などによる書面に加えた審査の充実 等

④ 重点道の駅等のフォローアップ

- 企画提案の達成状況や効果、課題について整備局を中心にフォローアップ 等

⑤ モデル道の駅との関係